



スクリーニング検査が必要であろうとの議論が出ています。まずは、こういった「どうしても守らなければならないところ」での感染者の早期発見のためのスクリーニング検査を行っていかないと、クラスターにより地域の医療体制は容易に逼迫します。この後、保育園や、多

くのひととの接触するハイリスクな事業所などに広がっていくことによって、地域の施設や保育園、事業所をコロナから守り、地域の感染源を減らして、ワクチン接種の時間を稼いでいくべきだろうと考えます。

〈院長(兼臨床研究部長) 谷口 清州〉

2病棟

## スマイル フラワー展

～2021春の作品～



暖かな陽気に誘われるように、どんどんとお花が咲くこの季節。色とりどりのお花が開いていく姿は、地上に出るのを待ち望んでいたかのようなですね。

そんなお花の元気な姿を見ていると、気持ちが高まり、心が踊ります。

そこで今回は、そんな春から夏のお花といわれて思い浮かべる代表的なお花を、2病棟の子どもたちと“ちぎり絵”で表現しました。

それぞれのお花にある花言葉を使ってメッセージも添えてありますので、そちらも楽しんでいただくと嬉しいです。

売店近くの渡り廊下で展示していますので、ぜひご覧ください。

(保育士 伊藤 真衣)



## 5病棟の生活の ひこコマ

64



先日、患者さんと一緒に、中庭の花壇にひまわりやアイリスの種を植え、水やりをしました。「早く咲きますように」と願いを込めながら植えた花たちですが、現在は大きな芽を出しており、すくすくと順調に成長しています。花が咲くのが楽しみな気持ちでいっぱいです。



また、この日は雲一つない晴天に恵まれ、外の空気がとても心地よく感じる一日でした。患者さんもみなさん気持ちよさそうに園芸活動をしていたのが印象的でした。

5病棟ではこのように、室内だけでなく屋外での療育活動も大切にし、熱心に行っています。これから暑い季節がやってきますが、季節を感じられるようなさまざまな療育活動を行っていきたく考えています。

(児童指導員 森 日奈子)

## 通所支援事業のひとコマ

梅雨入りして急に湿度があがり気温も高くなったりして、体が慣れていないせいか利用者さんはちょっとすっきりしない顔つきで、スタッフは汗だくの毎日です。雨降りの日はお散歩にも出られないので、新緑を楽しんだ屋外散歩やシャボン玉遊びの写真を眺めては、「もっと春を満喫したかったな～」という表情の利用者さんが大勢いらっしゃいました。

そこで通所支援では、屋内でも緑をたのしもう！をテーマに、デカルコマニー(合わせ絵)という絵画技法をつかって、緑の葉っぱ作りに取り組みました。画用紙の片面に絵の具をスタンプしたら、半分に折り、利用者さんに手伝ってもらって刷り刷り…。開いたらとっても素敵な葉っぱ模様のできあがり(しかも同じ模様が一つもないの

です)。葉っぱの形に切り抜いて、麻ひもでつないで天井からつるしたら、もう気分は夏でした。

もう一つの製作は、染め紙でつくったアジサイです。折り重ねた和紙を色水に浸して、微妙なじみを楽しみました。アジサイは売店横に展示していますので、ぜひご覧ください(時間帯によって、違うものが見えたりして?)。

お庭では園芸活動で植えたミニトマトがすくすくと育っています。これからも感染対策を行いながら、屋内・屋外の活動を楽しんでいきたいです。

(療育指導室長 村松 順子)



## 医療安全だより

先月号の5S活動に加え、三重病院職員には「患者さん確認」「BLS研修」を徹底しております。

### 「患者確認」

外来受診や入院中などの投薬や検査時、お名前の確認にご協力をいただきありがとうございます。お名前以外にもカルテ番号や生年月日等により患者さんの間違い防止対策をとっております。また、ご自分でお名前をお伝え出来ない小児患者さんには、患者さんのご家族、付き添いの方にご協力をいただいております。引き続き患者確認にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

### 「BLS研修」

BLSとはBasic Life Supportといい、心肺停止、あるいは呼吸停止に対する一次救命処置のことで、胸骨圧迫、人工呼吸からなる心肺蘇生法です。すべての職員が一次救命処置行動がとれるように研修をしています。一次救命処置にはAED(自動体外式除細動器)での心肺蘇生も含まれます。ちなみに、院内にも2台設置されていますがどこにあるかご存じでしょうか?受診されたとき、目につくところにありますよ。探してみてください。

今後も、より安全に医療を提供するにあたり、様々な工夫、訓練、確認を行ってまいります。(医療安全巡視グループ)